

# 建設物価 建設資材物価指数<sup>®</sup> 2024年12月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

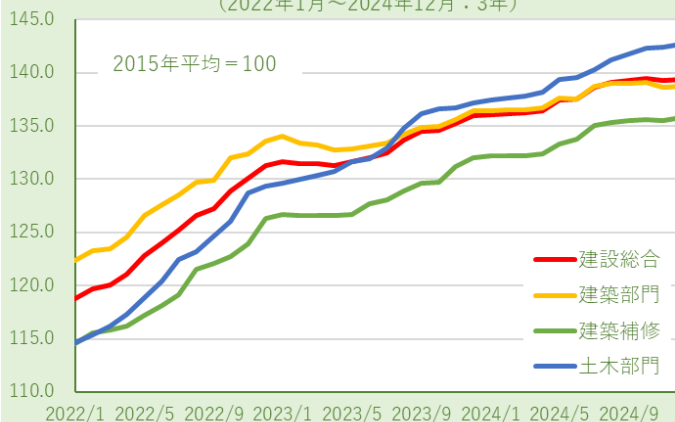
## 1. 指数の動向（全国平均）

12月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**139.4**となり、前月比+0.1%(+0.1ポイント)と2カ月振りの上伸となった。前年同月比では+2.5%(+3.4ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が**138.7**となり、前月比+0.0%(+0.0ポイント)と2カ月振りの上伸となった。前年同月比では+1.7%(+2.3ポイント)となった。**建築補修**は**135.8**となり、前月比+0.2%(+0.3ポイント)と2カ月振りの上伸となった。前年同月比では+2.9%(+3.8ポイント)となった。**土木部門**は**142.7**となり、前月比+0.2%(+0.3ポイント)と2020年5月以来55カ月連続の上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+4.0%(+5.5ポイント)となった。

## 建設資材物価指数【全国平均】

(2022年1月～2024年12月：3年)



## 2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

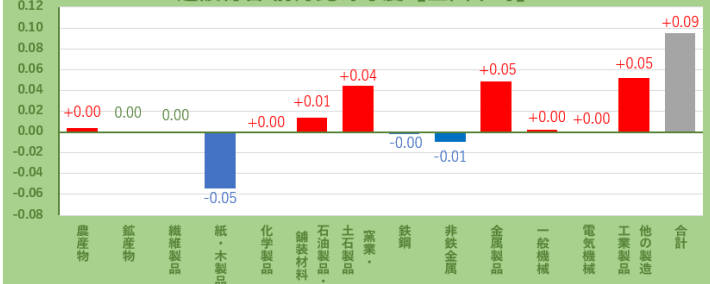
### 【金属製品】配管工事付属品

円安による原材料調達コストの増加を背景としたメーカーの値上げが市場に浸透し、プラスに寄与

### 【他の製造工業製品】プラスチック製品

輸送コスト等の増加を転嫁したメーカーの値上げが浸透し、プラスに寄与

## 建設総合 前月比寄与度【全国平均】



## 建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



マイナス寄与

### 【紙・木製品】合板類

長引く需要の低迷から販売店間の安値競争の激化により販売価格が下落し、マイナスに寄与

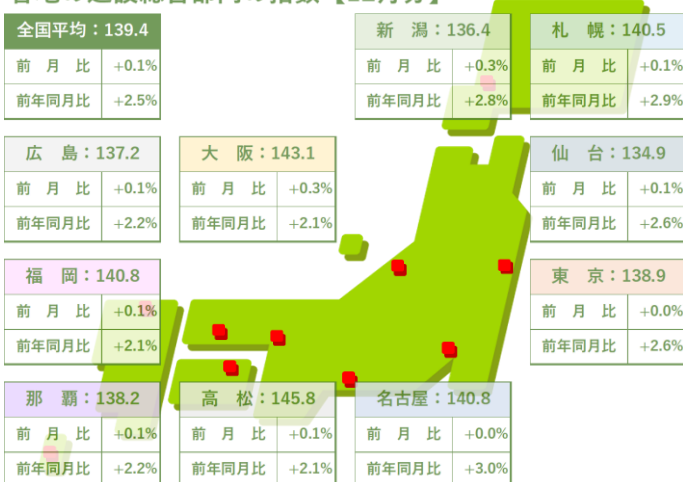
### 【非鉄金属】銅製品

国内需要の減少と国際的な銅相場下落により市場価格が値下がりし、マイナスに寄与

## 3. 都市別の動向（建設総合部門）

円安の影響による製造コストの増加分などを価格に転嫁した資材がある一方、国内需要の低迷によって価格が下落した資材もあり、各都市で小幅な変動となった。今月もっとも大きな上昇率となった【新潟】(前月比+0.3%)では、製造・輸送コストの増加を背景とした生コンの値上げが指数に大きく影響した。新潟と同じ上昇率であった【大阪】(同+0.3%)でも、製造コストや輸送コストの増加を理由に打ち出したコンクリート杭の大幅な値上げが浸透し、指数の上昇に寄与した。一方、【東京】(同+0.0%)や【名古屋】(同+0.0%)では、上伸した資材数が多かったものの、合板類などの主要資材の下落が影響し、指数は横ばいでの推移となった。

## 各地の建設総合部門の指数【12月分】



一般財団法人  
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp